第Ⅱ部

景観まちづくり編

第６章　地域別の景観まちづくり
第７章　学校区別の景観まちづくり
第８章　共創による景観まちづくり





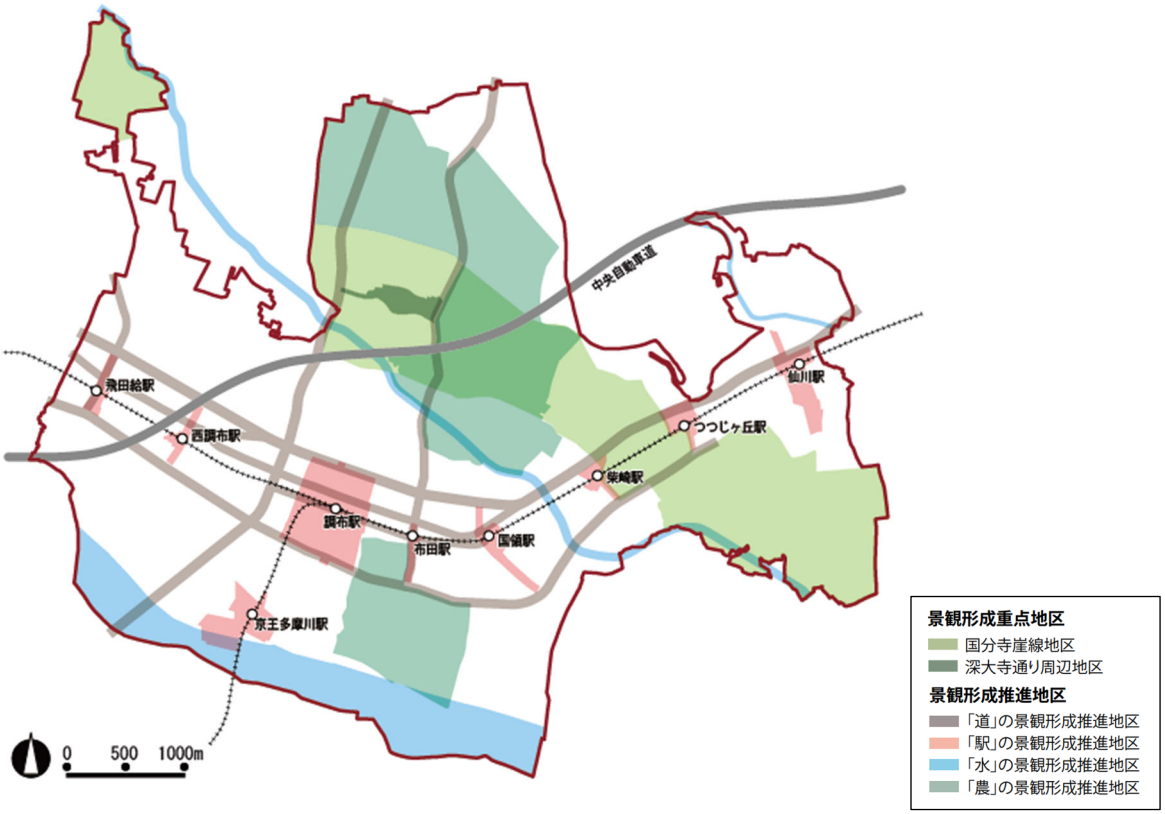
第６章　地域別の景観まちづくり

景観法第8条3項関係

６－１．地域別の景観まちづくりの考え方

調布市は、多摩川などの河川、甲州街道などの主要な道路、国分寺崖線の緑の軸や、駅前やまとまりのある農地、閑静な住宅地が広がる地域など、多様で特徴的な景観で構成されています。

市では、地域特性に応じた景観まちづくりを進めていくため、景観計画区域を地域・地区に区分し、それぞれの地域の景観まちづくりの目標・方針を示します。



景観計画区域

６-２．景観形成重点地区

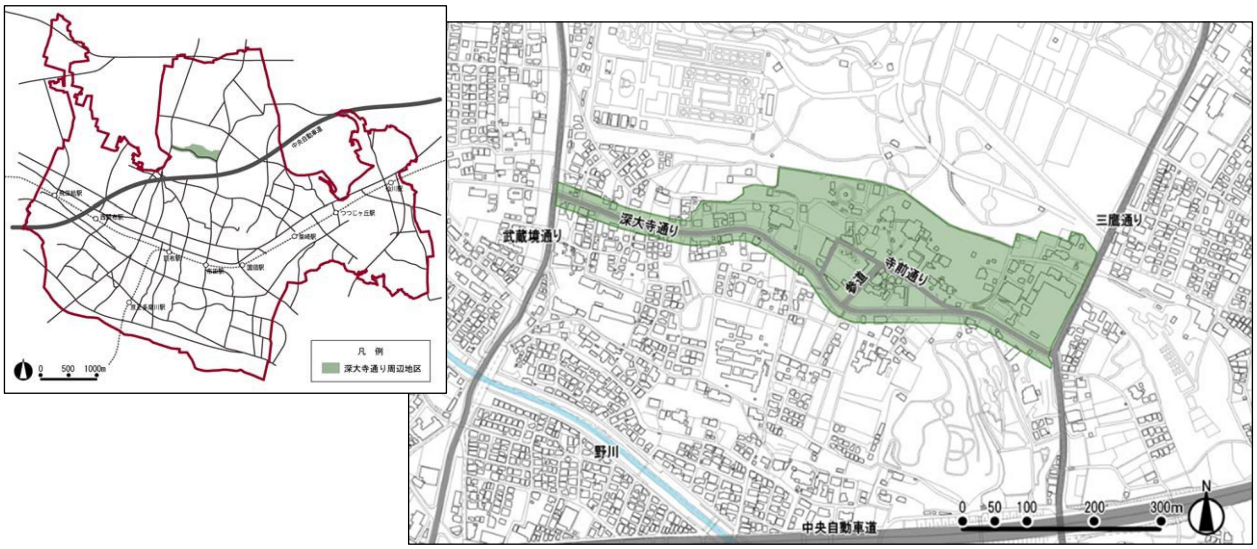
(1)深大寺通り周辺景観形成重点地区

①位置と概要

開創以来1300年の悠久の歴史を刻む深大寺を中心として、その参道等に建つ土産物店や飲食店、住宅等に見られる銀ねず色の瓦を葺いた勾配屋根や、真壁造りやこれに類する和風様式の建築物、しっくいや土壁などの伝統的な外壁またはこれに類する落ち着いた色彩の外壁等、特徴的な形態を持つ建築物によって形成された街並みは、調布の歴史や文化を語るうえで重要な地区となっています。

また、本地区は国分寺崖線に位置し、地区内には湧水による清水や緑豊かな木々など、四季の彩りを感じることのできる景観が見られます。また、深大寺とその門前の歴史的な趣を有した街並みのほか、隣接して都立神代植物公園等が位置し、週末には多数の観光客が訪れる地区となっています。

［対象範囲］
・深大寺通り、寺前通り、参道のいずれかに接する敷地



深大寺通り周辺景観形成重点地区の範囲

・この地図は、東京都縮尺1/2,500地形図を使用（承認番号：8都市基交測第170号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。
・この地図の著作権は、東京都及び株式会社ミッドマップ東京に帰属する。





景観法第8条3項関係

②景観形成の方針

■景観形成目標

●国分寺崖線の豊かな水と緑を保全・活用し、安らぎある武蔵野の原風景を再生します。
●“真壁造り”等の特徴的な建築形態に表れる深大寺の歴史・文化を継承しながら観光文化歴史拠点を形成するとともに、落ち着きの感じられる街並み景観を形成します。

■景観形成方針

水と緑の豊かな自然環境の保全

都市計画公園等の緑地保全の諸制度との連携を図りながら、深大寺周辺の自然林をはじめとする樹木や湧水・水路等を、所有者や地域住民等により適切に維持管理し、良好な自然環境の保全を図ります。

自然環境を生かした落ち着きの感じられる街並み景観の形成

緑豊かな木々に包まれ、湧水や水路の水音が聞こえてくる良好な自然環境を生かし、落ち着きの感じられる街並み景観の形成を図ります。

地域の歴史・文化を継承した魅力ある街並み景観の形成

地区内の建築物に見られる銀ねず色の瓦を葺いた勾配屋根や、真壁造りやこれに類する和風様式の建築物、しっくいや土壁などの伝統的な外壁またはこれに類する落ち着いた色彩の外壁等、特徴的な形態・意匠を継承しつつ、周囲の良好な自然環境との調和に配慮し、地域の歴史・文化を感じ取れる風情ある街並み景観の形成を図ります。

訪れる人にもゆとりと潤いを提供する景観の形成

地域住民はもちろんのこと、地区を訪れる観光客も四季を通じてゆっくりと散策し、季節の移り変わりを楽しむことができる、ゆとりと潤いに満ちた景観の形成を図ります。



景観形成のイメージ

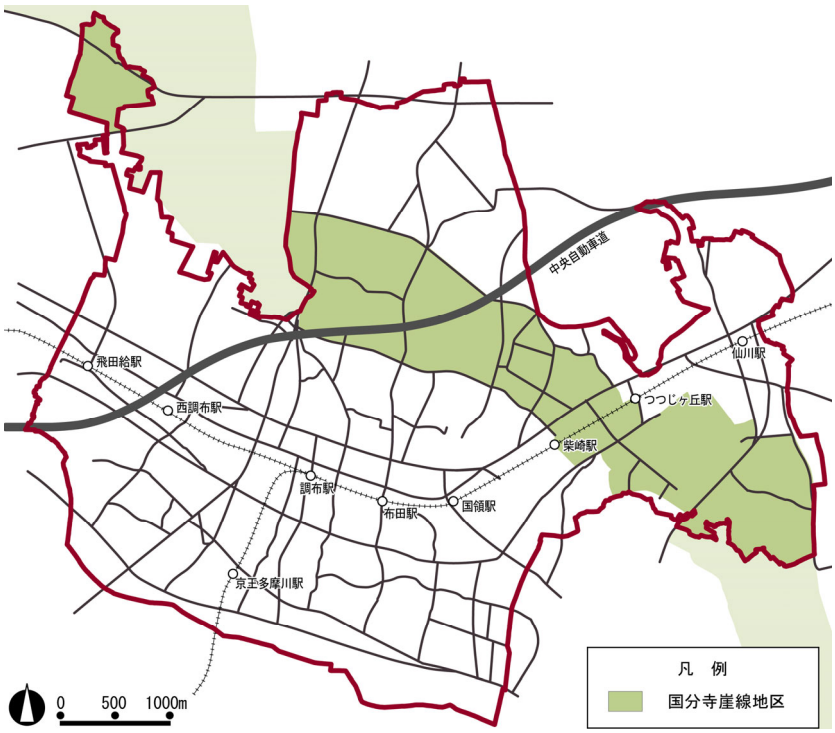
(2)国分寺崖線景観形成重点地区

①位置と概要

市を東西方向に連なる国分寺崖線は、30m程度の土地の高低差により多様な地形の変化をつくり出し、調布らしい景観を形成する骨格となっています。

特に、はけと呼ばれる崖線に分布する雑木林を中心とした斜面地は、貴重な自然景観を残す樹林地として、遠方から眺めた際の、市街地の緑の背景となるなど、本市の特徴的な景観を形成しています。

周辺には、滝坂など貴重な緑や旧街道の面影を残す地区もあることから、地域特性を生かした良好な景観の形成を図るために、今後も景観形成重点地区の拡充などを検討する必要があります。



国分寺崖線景観形成重点地区の範囲
※赤線枠内の市内に限る。
（市外は、「東京都景観計画」における国分寺崖線景観基本軸の範囲）

［対象範囲］
・国分寺崖線及び国分寺崖線と一体となって景観を創り出している地域
・低地側：崖線と低地との境界部からおおむね360mまで
・台地側：崖線と台地との境界部からおおむね80mまで





景観法第8条3項関係

②景観形成の方針

■景観形成目標

●国分寺崖線を軸に、広域的に連続する緑や崖線が生み出す湧水等の自然環境、多くの寺社や史跡等の歴史的資源、さらには、水車等の文化的資源の保全を図りながら、これらの資源と調和した景観の形成を図ります。

■景観形成方針

連続した緑の景観の形成

現存する崖線の地形や緑の保全を図りながら、建築物の建築や道路等、部分的に緑が分断される場所では、屋上緑化や建築物周辺の緑化を推進し、崖線の連続する地形や緑の保全・回復を図ります。

優れた自然環境を生かした景観の形成

国分寺崖線の緑は市街地における貴重な緑であることから、緑地保全の諸制度との連携を図り、斜面緑地等の自然環境の保全を図ります。

崖線の歴史的･文化的資源を生かした景観の形成

崖線周辺に見られる多くの寺社や旧跡等の歴史資源の保全や、湧水や豊富な清水を利用した水車等の生産文化資源の復元を図り、これらと調和した歴史性を感じさせる街並み景観の形成を図ります。

崖線の存在を生かした魅力ある地域の景観の形成

市街地の背景となる崖線の緑と調和した良好な市街地景観を形成するため、崖線周辺の建築物等の色彩を緑と調和したものに誘導するなどの景観形成を図ります。



景観形成のイメージ

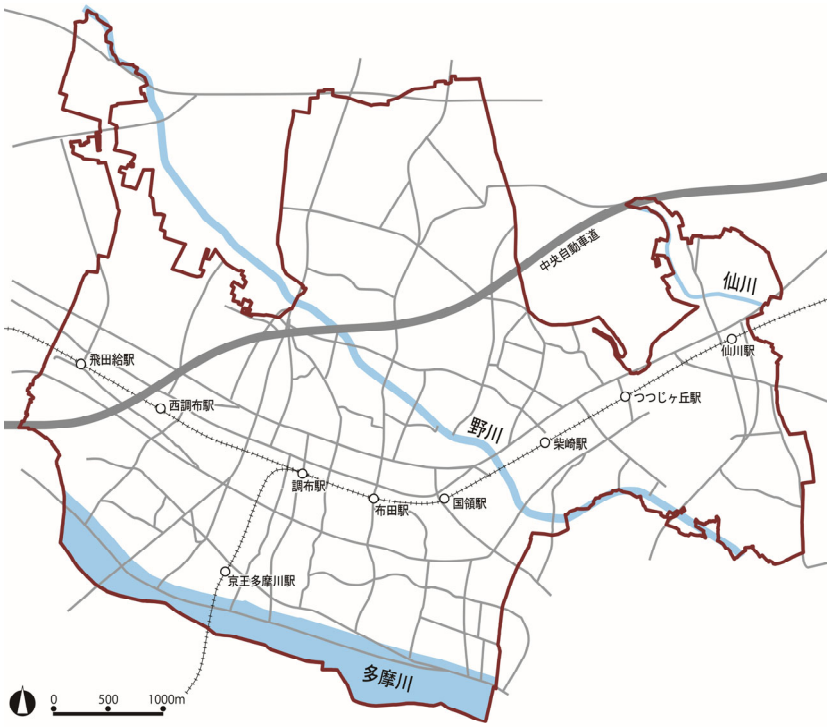
６－３．景観形成推進地区

(1)「水」の景観形成推進地区

①位置と概要

市内には、多摩川・野川・仙川などの河川が流れ、それぞれの沿川では雄大な自然の広がりや身近な植物等の生息環境など、様々な景観が見られます。

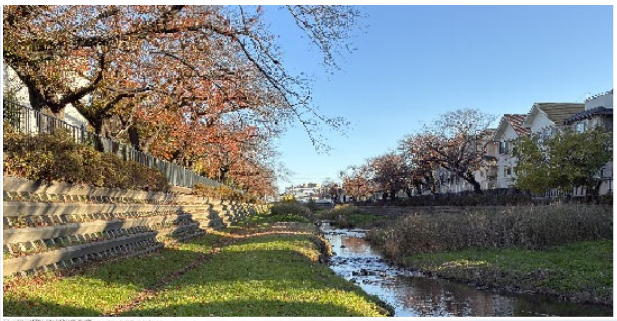
また、河川や国分寺崖線の湧水を水源とする水路は、古くから農業や産業にも使われ、生活の一部としても根付いてきました。



「水」の景観形成推進地区の範囲

［対象範囲］
・多摩川の堤防から概ね100mの範囲
・野川の河川区域から概ね20mの範囲
・仙川の河川区域から概ね20mの範囲







②景観形成の方針

景観法第8条3項関係

■景観形成目標

●多摩川河川敷の開放感と広がりのある眺望景観の確保に努めます。
●野川や仙川がつくり出す多様な自然環境の保全による緑の連続性の創出により、河川景観の魅力を高めます。
●地域の景観特性との調和とともに、橋や対岸からの眺望を生かした景観形成に努めます。
●河川の特性を生かした水辺に親しむ空間の創出など、調布らしい潤いある水辺景観の形成に努めます。

■景観形成方針

多摩川の眺望を生かした景観形成

多摩川の広がりと空の抜けを生かし、視点場や河川敷からの眺望を確保するとともに、建築物や緑地の配置により、開放的で心地良い景観を保全します。

野川・仙川等の緑と水の連続性の保全

河川沿いの緑地や植栽のつながりを大切にし、生態系と景観の両立を図るとともに、自然環境と調和した親水空間の創出を促し、地域の魅力を高めます。

水辺に親しむ調布らしい景観の創出

散策路や休憩スペースを設け、誰もが水辺に親しめる空間の形成や、橋や対岸からの眺めを意識した潤いと安らぎを感じる景観を創出します。



景観形成のイメージ

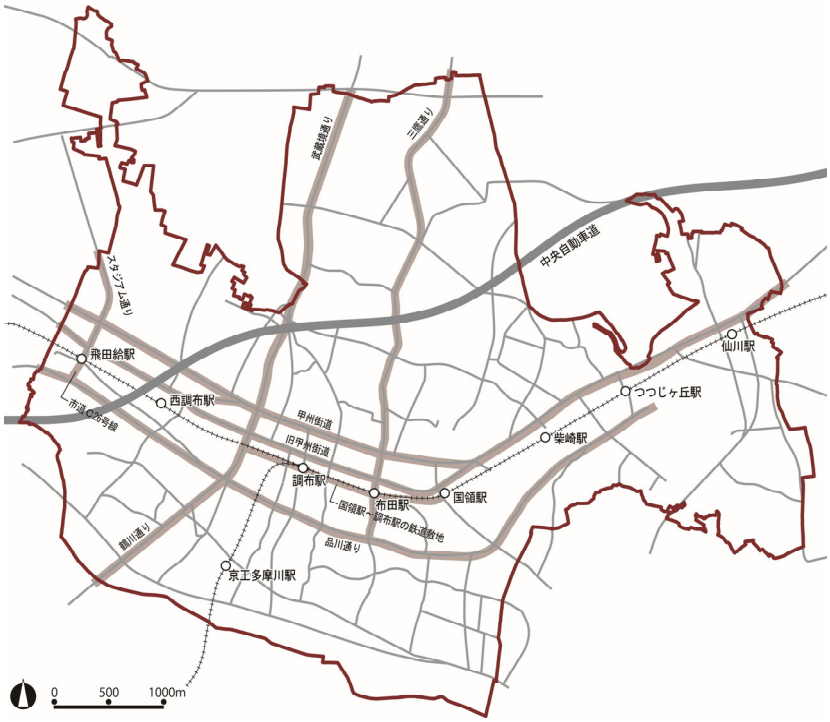
(2)「道」の景観形成推進地区

①位置と概要

道路は、市内を南北・東西方向に連絡し、市民生活に欠かせないインフラとなっています。

甲州街道、旧甲州街道をはじめとする街道は、古くから人や物資の移動、街と街をつなぐ重要な役割を担ってきました。車が移動手段に使われるようになってからも、都市間を連絡する道路は街路樹や沿道の街並みなど、移り変わる景観が通る人の目を楽しませてくれます。

市内では、都市計画道路の整備等の進捗により、少しずつ道を取り巻く景観も変化しています。



「道」の景観形成推進地区の範囲

［対象範囲］
・甲州街道、武蔵境通り、鶴川街道、三鷹通り、品川通り、旧甲州街道、スタジアム通り及び市道C26号線の道路境界線より20～30mの範囲
・国領駅～調布駅の鉄道敷地に接する敷地





②景観形成の方針

景観法第8条3項関係

■景観形成目標

●道路の見通しや連続性を確保し、快適な市民生活を支える主要な道路の景観形成を図ります。
●誰もが安全・安心に移動できる、快適な歩道空間の景観形成に努めます。
●周囲と調和したデザインや色彩に配慮し、連続した街並みを意識した沿道の景観形成を図ります。
●緑化を推進し、まとまりや連続性のある緑の創出を図ります。
●旧甲州街道など宿場町の面影が残る街道筋では、歴史的な背景を生かした街並み景観の形成に努めます。

■景観形成方針

見通しと連続性を生かした快適な道路景観

幹線道路では、見通しの良い空間構成と統一感のある沿道景観を形成します。建物配置や広告物の調和により、快適で安全な都市の表情をつくります。

歩行者に優しい緑豊かな街路空間の形成

歩道のゆとりや連続した街路樹によって、安心して歩ける快適な歩行環境を確保します。また、緑陰の形成等により、潤いある通りの景観を創出します。

歴史と調和した沿道景観の継承と創出

旧甲州街道などの歴史的街道では、地域特性に調和した建物のデザインや素材、色彩を誘導し歴史の面影を生かした風情ある街並み景観を形成します。



景観形成のイメージ

【ちょうふぽっぽみち(鉄道敷地遊歩道)】

京王線地下化によって創出された、調布・布田・国領３駅の駅前広場と各駅をつなぐ線路跡地は、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間として整備を進めてきました。

令和７(2025)年３月には緑道の整備が完了し、愛称が「ちょうふぽっぽみち」に決定しました。にぎわい・回遊性の向上や、うるおいとやすらぎが感じられる居心地の良い都市空間の形成が期待されます。





【鉄道敷地の景観形成方針】
●京王線地下化によって創出された鉄道敷地では、新たな都市空間の形成と魅力ある景観の創出･維持に努めます。

【スタジアム通り等】

飛田給駅から味の素スタジアム（東京スタジアム）、京王アリーナTOKYO（武蔵野の森総合スポーツプラザ）に続くスタジアム通り等は、春には桜並木の名所として親しまれています。日常時は静かな並木道の風景が、イベント時は「スタジアム通り」の名称にふさわしいにぎわいが感じられる通りに変わり、利用者を楽しませてくれます。





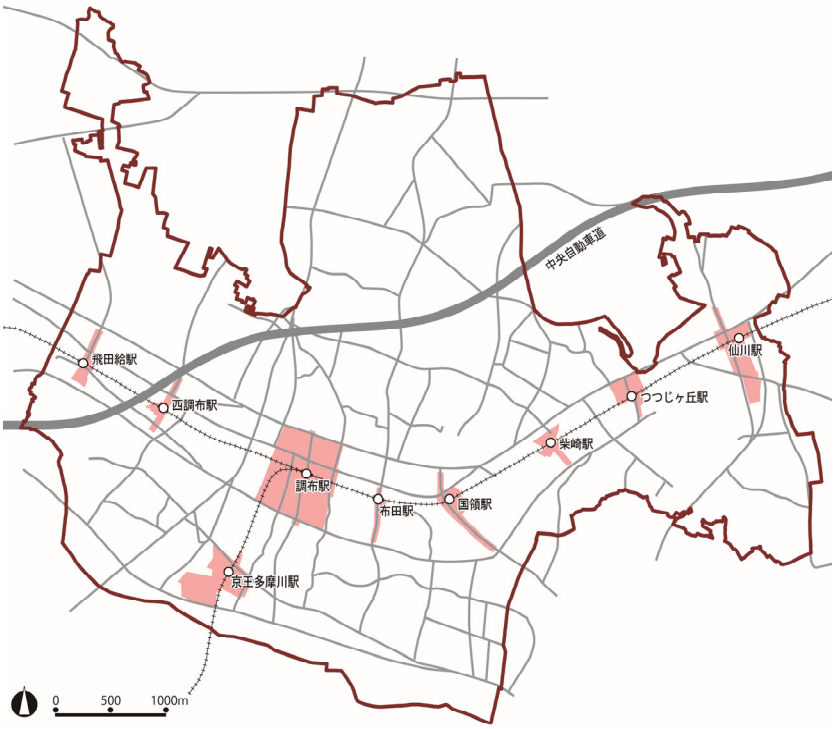
【スタジアム通り及び市道C26号線の景観形成方針】
●スタジアム通り及び市道C26号線では、落ち着いた並木道の緑が感じられる日常の景観と、にぎわいを演出する非日常の景観の両立を図ります。

(3)「駅」の景観形成推進地区

①位置と概要

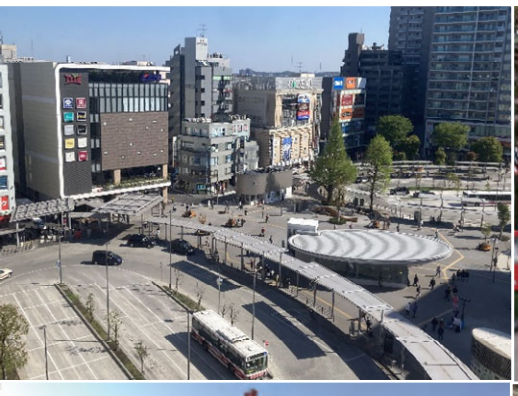
市内には京王電鉄京王線、京王相模原線が乗り入れ、９つの駅が立地しています。駅周辺では、商業機能をはじめ業務機能、行政施設や文化施設などが集積するとともに、都市型住宅の立地など生活にも密着した場所です。

それぞれの駅周辺では、交通結節点や商業機能の利便性だけでなく、にぎわいや交流の場として、市民生活の拠点となっています。また、調布駅から国領駅の間では、京王線の地下化による駅前広場の創出など、新たな景観が形成されています。



「駅」の景観形成推進地区の範囲

［対象範囲］
・京王電鉄京王線の仙川駅、つつじヶ丘駅、柴崎駅、国領駅、布田駅、調布駅、西調布駅、飛田給駅及び京王電鉄相模原線の京王多摩川駅の各駅周辺の、「商業地域」及び「近隣商業地域」を中心とする範囲








②景観形成の方針

景観法第8条3項関係

■景観形成目標

●地域特性を生かした、各地域の顔となる駅前の景観形成に努めます。
●拠点となる駅周辺では市の顔として、にぎわいとともに風格のある景観づくりを進めます。
●駅周辺の建築物や屋外広告物等は、デザインや色彩、配置など周辺景観との調和に配慮します。
●駅前広場や道路などの公共空間と一体になった、ゆとりのある空間の創出に努めます。

■景観形成方針

地域の顔にふさわしい魅力ある駅前景観の創出

各駅の特性を生かし、駅前広場や駅舎、周辺建物が一体となった調和ある景観を形成します。市民や来訪者に親しまれる、地域の顔としての空間を創出します。

にぎわいとゆとりが調和する公共空間の形成

駅前広場や歩行者空間を連続的に整備し、回遊性とにぎわいを高めます。植栽や舗装材の工夫により、潤いと安らぎを感じる快適な都市空間を創出します。

調和と品位ある建物･広告景観の形成

駅周辺の建築物や屋外広告物は、高さ・デザイン・色彩の統一を図り、落ち着きと風格のある景観を形成します。夜間景観にも配慮し、上質な都市景観を創出します。



景観形成のイメージ

■市内各駅の景観特性

市内各駅の景観の現況や特性は以下のとおりです。本項は、調布市景観まちづくり市民検討会で検討した内容をもとにとりまとめを行っています。

調布らしさが感じられる駅の視点

視点❶ 広場を見下ろす景観

普段歩いているときに見る日常の景色を、少し上から見ると違った風景が広がり、新たな魅力を発見できるかもしれません。



視点❷ 空と夕陽の景観

普段何気なく歩いているとまちの変化に気づきにくいものですが、駅まわりの変化とともに現れた、空や夕陽を見ることができる新たなスポットを探してみてください。

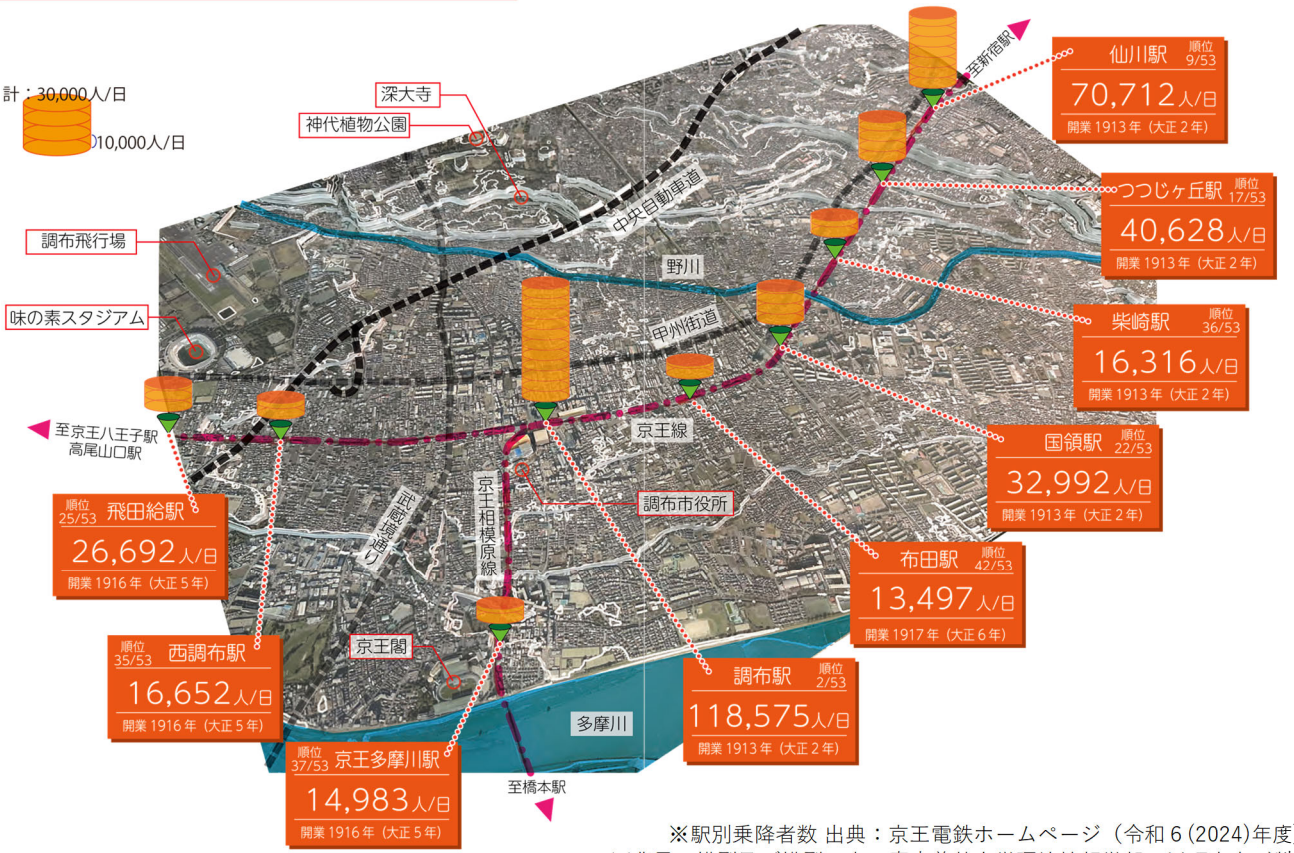


視点❸ 人がつくる景観

風景は自然や緑、建物などと思いがちですが、人の存在も立派な景観の一部です。生活するまちの中で、人を感じ、人がつくり出す景観を意識して探してみてください。



市内9駅の乗降人員

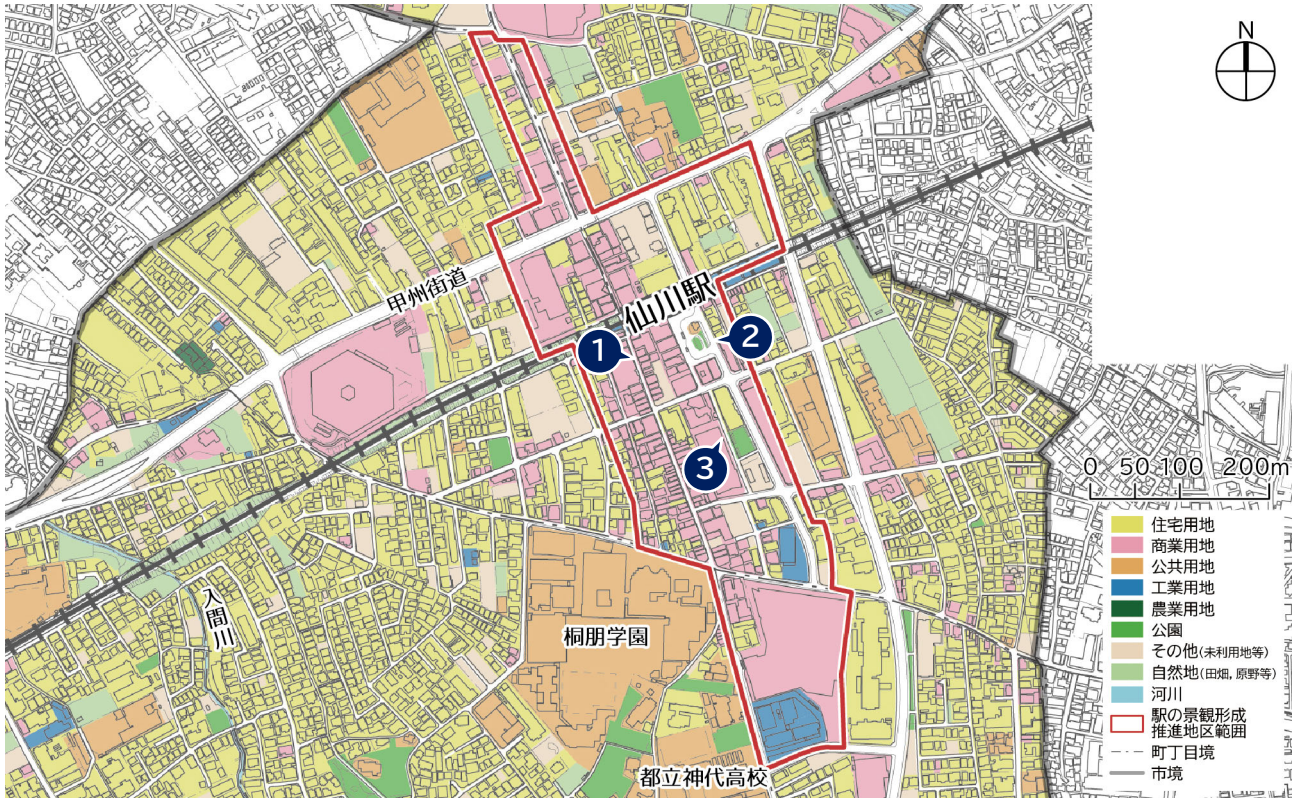


※駅別乗降者数 出典：京王電鉄ホームページ（令和6(2024)年度）
※背景の模型及び模型写真は慶応義塾大学環境情報学部石川研究室が制作

駅まわりの景観の現況･魅力

仙川駅

【駅の範囲】



【景観特性】

○桐朋学園、白百合女子大学、都立神代高校など多くの学生が利用する駅です。
○昭和の時代から駅まわりにたくさんの商店が並び、大規模な商店街が構成されています。
○駅前広場、桜の木、駅前のベンチ、駅に近接した商店街など、駅から比較的近い場所に魅力が集中しています。
○学生を中心とした若い人の利用も多く、活気があります。
○車の通れない歩行者中心の道沿いに商店街が構成され、多くの買い物客でにぎわっています。
○駅から離れるにつれて、学校や安藤ストリート、大規模商業施設などの建物が建ち、仙川の魅力となっています。

キーワード
駅前の大きな桜
若い人が多い街
狭い道
学校が多い街
歩行者中心のみち
活気ある
個性ある低層の店舗群

【駅まわりの魅力的な景観】



昔から人との距離が近い
南北に伸びる商店街は、懐かしさが感じられ、
それが魅力となっています



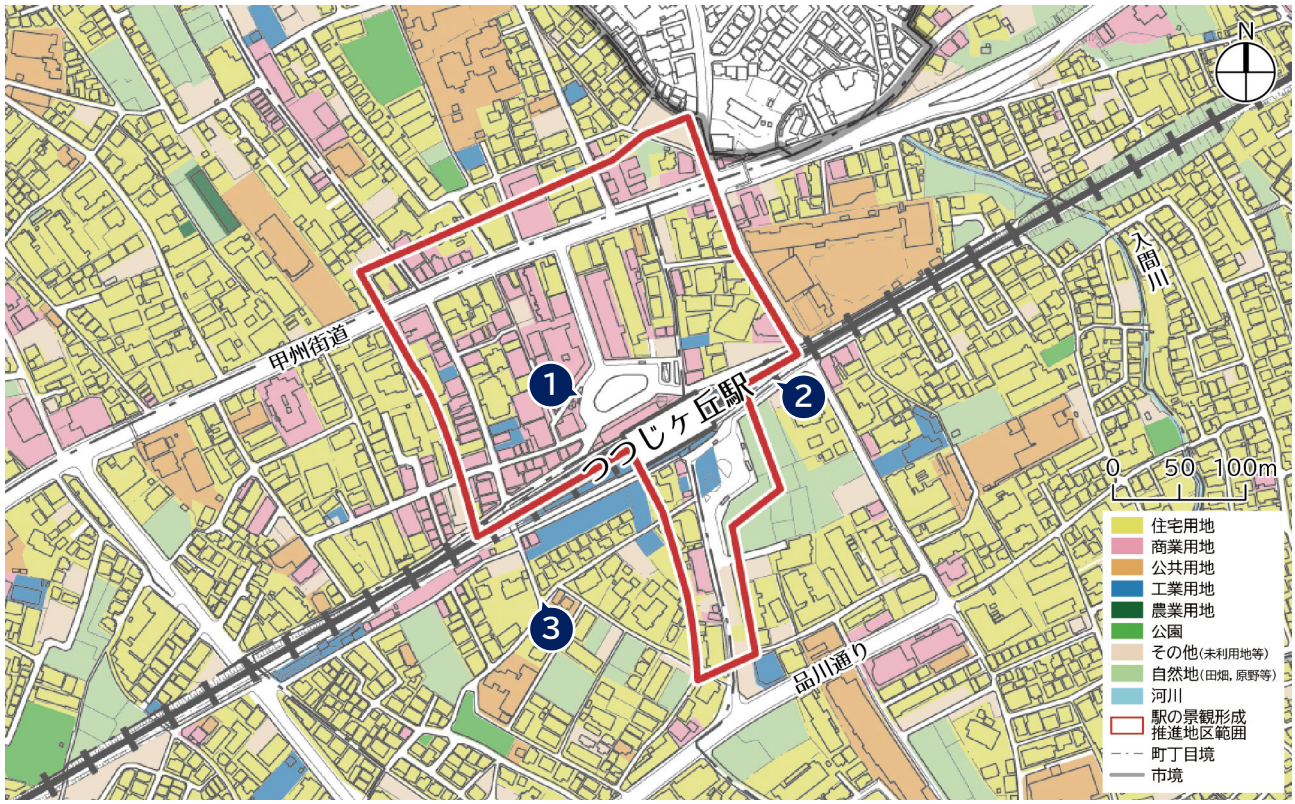
季節ごとに人々を和ませてくれる
桜の木の下には、待合せや休憩をする人が
常に集まっています



広場や公園など、人中心の歩行者空間と
個性的な店舗がバランスよく配置されて
いて、歩いて楽しい空間です

つつじヶ丘駅

【駅の範囲】



【景観特性】

○深大寺・神代植物公園方面のバスが１日100本以上もあり、居住者や来訪者にとって利便性が高いです。

○駅の南側は、農地や果樹園などの緑が多く見られ、自然を感じられる雰囲気があります。

○市民の活動によって飾られた花が、まちを彩る魅力となっています。

○南口は駅前広場と道路が整備され、新たなまちの姿が期待されます。

キーワード
近くの花
農地・畑
新旧の共存
あらたなまちの姿
利便性
ひとのあたたかみ
バス（深大寺行き）

【駅まわりの魅力的な景観】



バスの発着も多くターミナル駅としても
市民に親しまれています



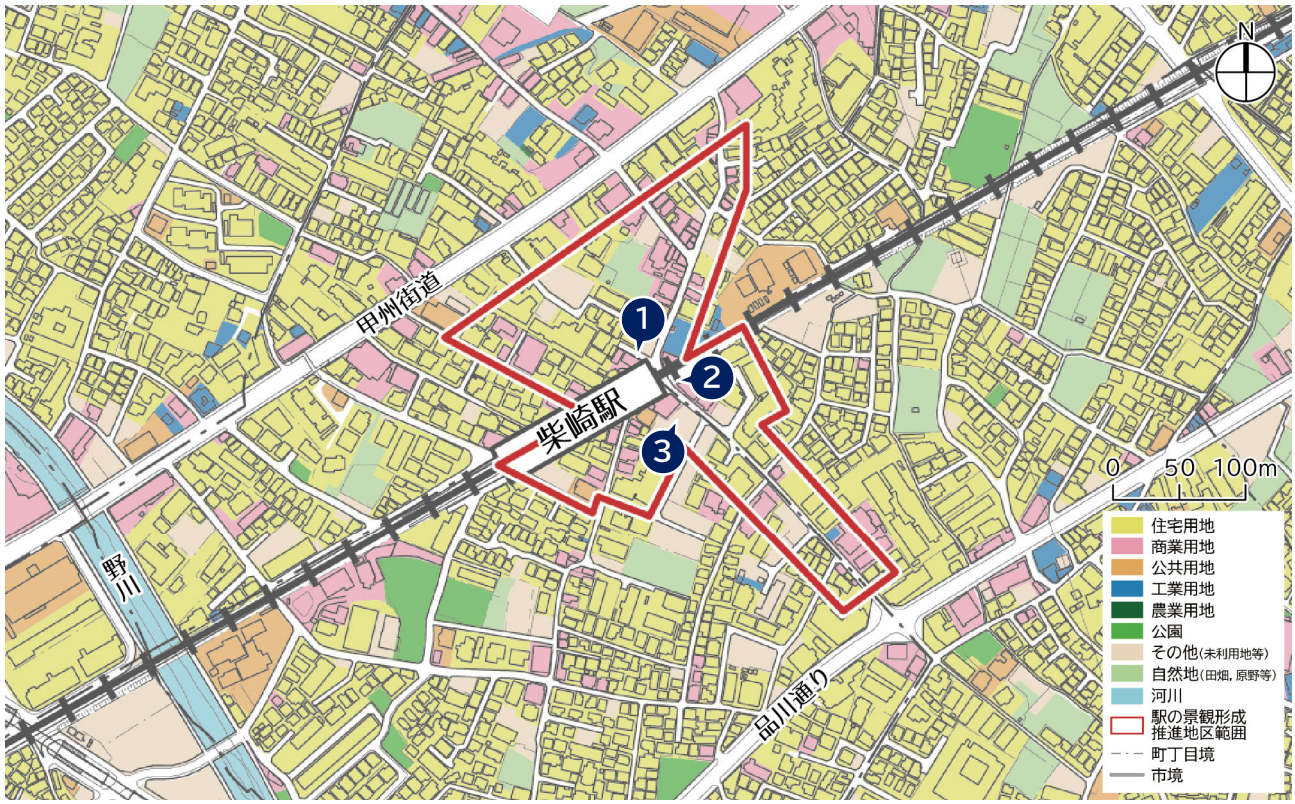
新たに整備された駅前とマンション群の
街並みで、未来が期待される風景です



古い街並みと新しい家、
奥の踏切が同時に見え、
新旧の時代を感じられる風景です

柴崎駅

【駅の範囲】



【景観特性】

○昭和の時代から変わらない駅舎で、数段階段を昇ればすぐにホームに出ることができます。

○改札を出るとそばにお店があり、踏切の音を聞きながら遮断機が開くのを待つ風景を感じられます。

○駅近くの商店街と住宅が隣接しており、駅から出ると安心感が生まれます。

○だんだん新しいお店ができており、地元の人々に愛されながらゆっくり変化するまちが魅力です。

キーワード
なつかしさ
線路・踏切
駅との近さ
安心感
不便さ
まちにあった変化
歴史

【駅まわりの魅力的な景観】



素朴な駅舎がどこか懐かしさや
安心感を与える、柴崎らしい景色です



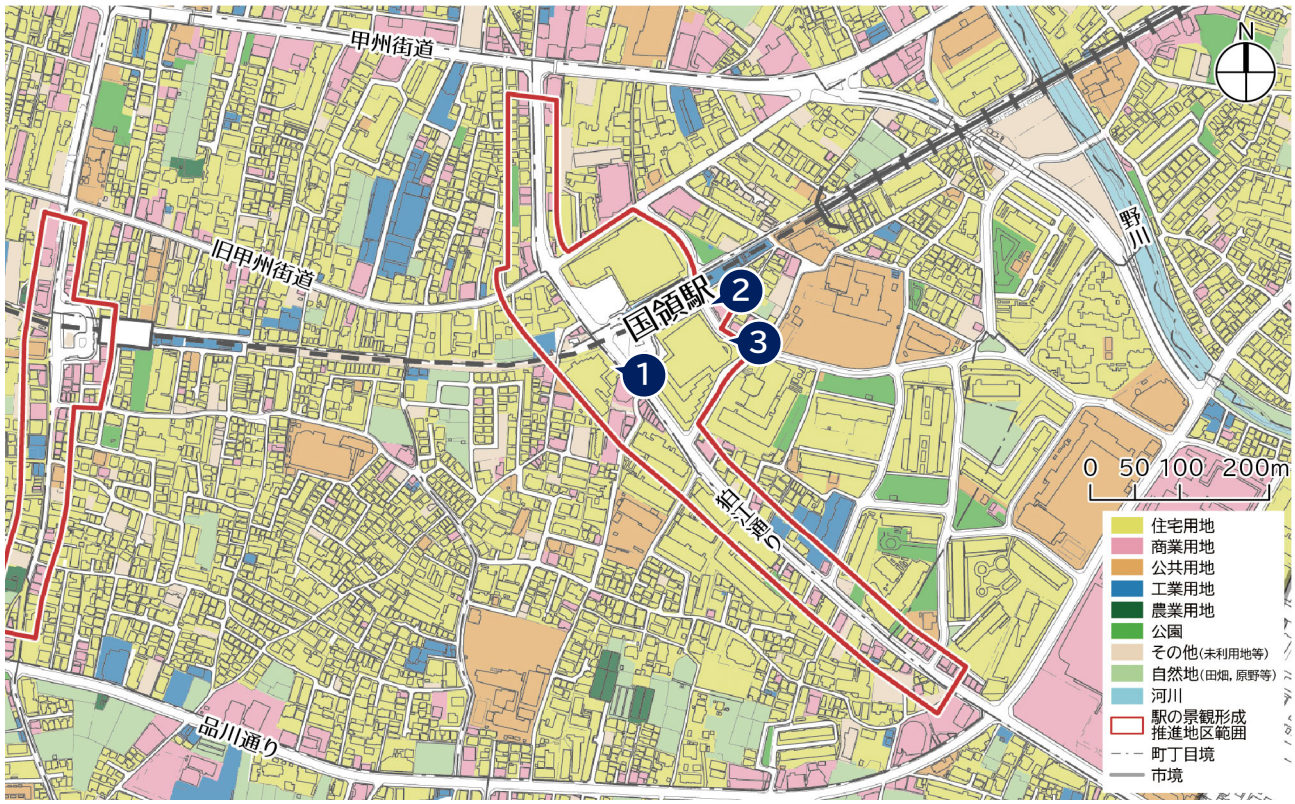
駅とまちの距離が近く、人の生活をより身近に
感じることができます



まちが変化を進める中で、
様々な店舗が多くの人を呼び込んでいます

国領駅

【駅の範囲】



【景観特性】

○駅前には昼間に子どもたちが駆け回り、イベント時には多くの人でにぎわう広場があります。
○京王線が地下に入るところが見られるカフェなど魅力的なスポットがあります。
○夕刻時改札から出ると、夕陽が見えるほっとする風景があります。
○建物の高さや壁面に変化があり、見る人を楽しませてくれます。
○駅舎とその周辺の建物のデザインの調和がとれています。
○派手さはなくても、落ち着いて歩ける街です。

キーワード
人が集う
駅前広場
駅周辺再開発
道路絵師日
デザインの調和
歩きやすい
地下駅のスタート

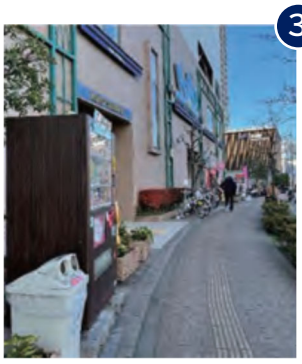
【駅まわりの魅力的な景観】



電柱や電線がなくなり、これまでより
夕陽(夕焼け)の空を感じるようになりました



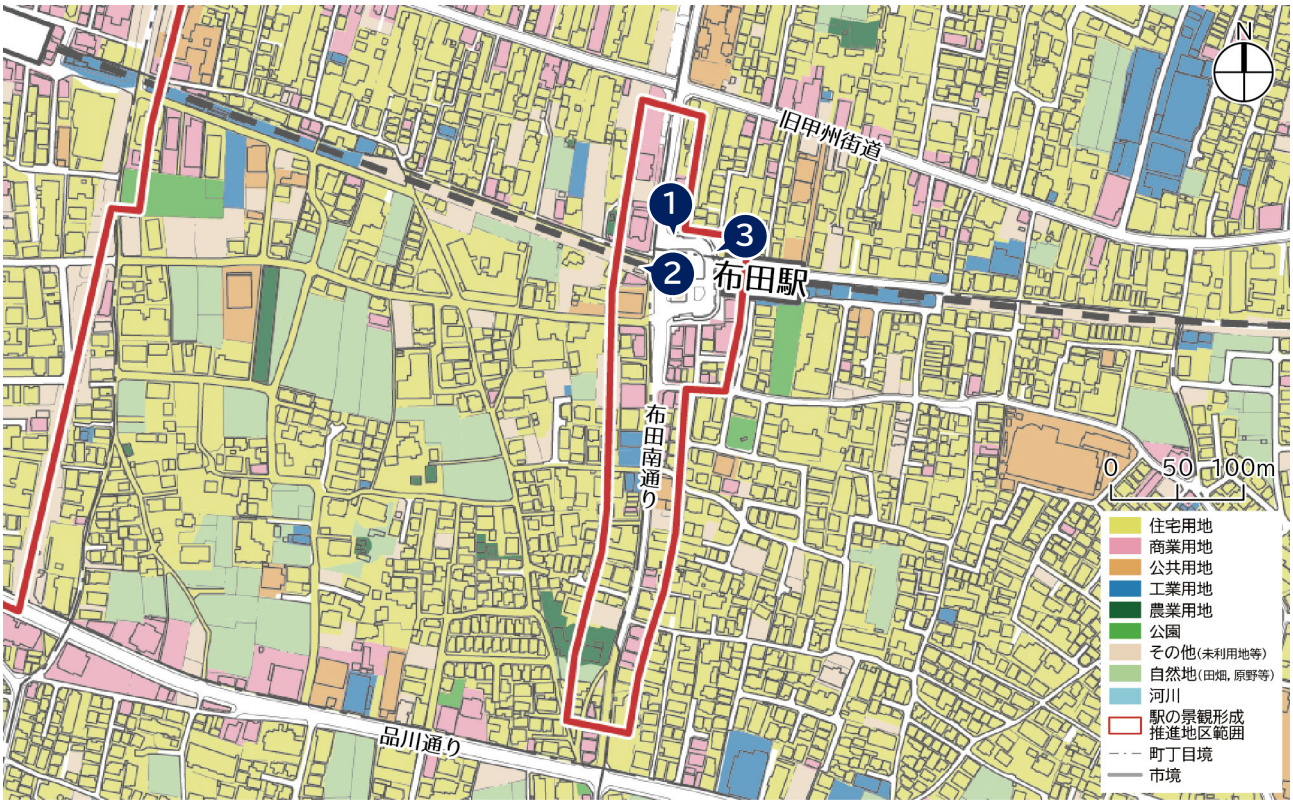
新たな空間で、イベントなどが開催され、
人が集まるにぎわいの場となっています



茶系の外壁と調和した木目調の
自動販売機が、周囲に溶け込み
落ち着いた街並みとなっています

布田駅

【駅の範囲】



【景観特性】

○駅まわりに高層の建物や商店は少なく、落ち着いた静かな住環境となっています。

○京王線の地下化に伴い生まれた鉄道敷地が、住民の憩いの場となるよう期待されています。

○國領神社、常性寺など、駅の周辺に神社仏閣が点在しています。

○駅から少し離れた場所には、人々の癒しとなる緑地や農業風景があります。

キーワード
ターミナル駅の隣
緩さ・静けさ
コンパクト
鉄道敷地
新たな街への期待
ほっとする風景
癒しとなるみどり

【駅まわりの魅力的な景観】



駅周辺は店舗も少なく、
駅舎もまちに溶け込み、
落ち着いた雰囲気の駅まわりとなっています



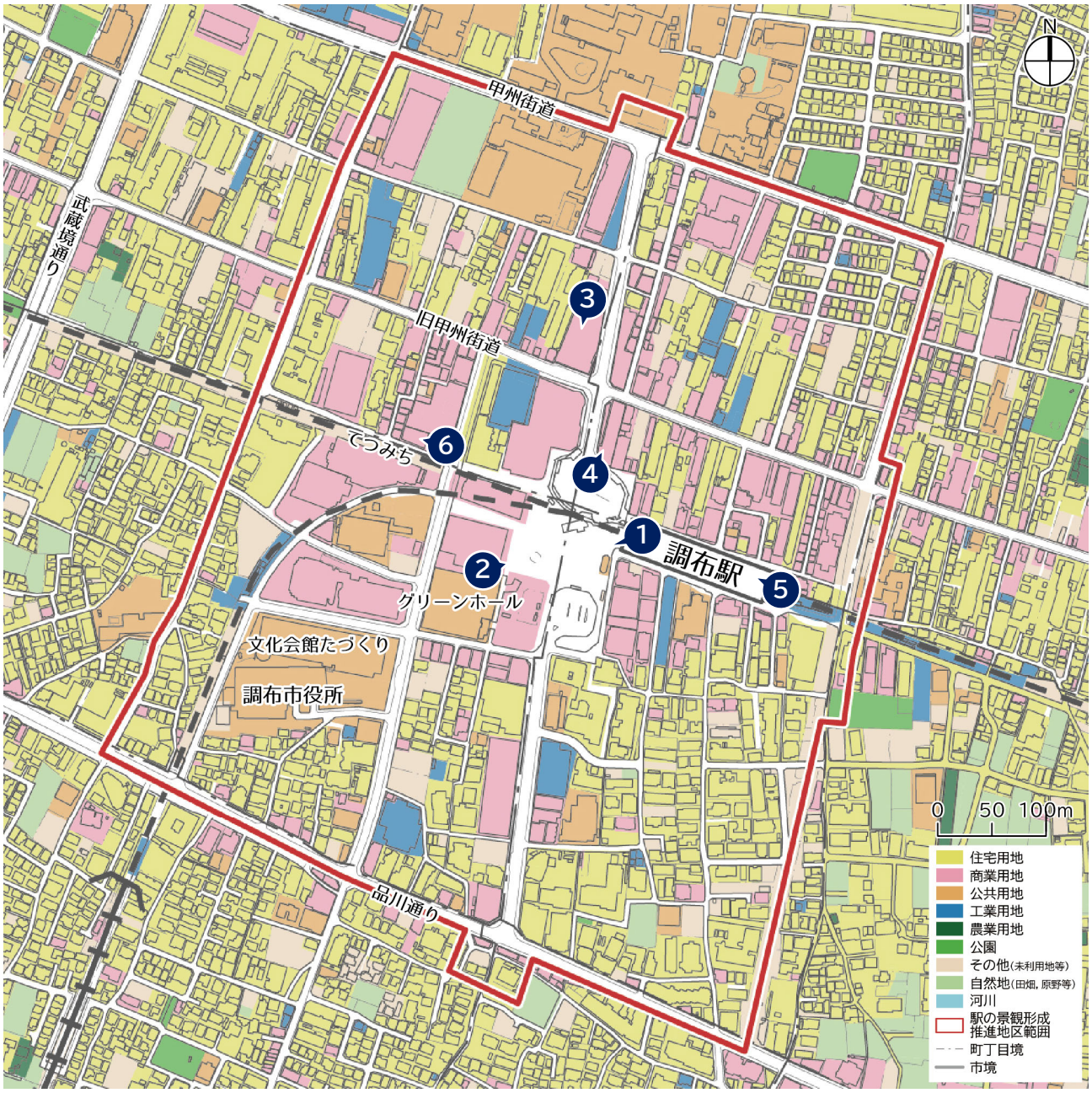
平日の昼間に人気を感じさせない、
静けさや緩さが魅力です



駅の地下化により空間が広がり、
帰宅時には夕陽が出迎えてくれます

調布駅

【駅の範囲】



【景観特性】

○調布市の玄関口として通勤・通学、買物客等の多くの乗降客に利用されています。
○駅前広場や上空に開けた空、夕陽の見える風景が魅力です。
○京王線の地下化、駅周辺の再開発等に伴い、リニューアルした新たな調布市の玄関口として期待されています。
○駅南北の分断が解消されたことで、今後は人々の交流が駅を中心に一層活発化していくことが期待されます。
○駅周辺は、再開発や道路の整備に伴い、街路樹や植栽が増え、季節を感じる花々が飾られるガーデン等もあり、街を魅力的に彩っています。
○週末にはイベント等が開催され、多くの人でにぎわう駅前の魅力となっています。

キーワード
調布市の玄関口
新しい駅前広場
新旧の高層建物
開けた空・夕陽
来訪者・住民
街路樹・植栽
駅の変革と歴史

【駅まわりの魅力的な景観】



地下化に伴い南北の境がなくなったことで、
開放感のある駅前空間を
感じることができます



駅前広場には広大な広場と大きな木、
多年草が中心に植えられ、
立ち寄りたくなるガーデンとなっています



電線地中化により、
調布のシンボルであるパルコへの
眺望とともに空の広がりを
感じることができます



駅周辺が変化する中で、
北口に建つテナントビル(駅に隣接する
ビルでは最も古い)は貫禄すら感じさせます



調布駅の東側の建物の裏手には、
おもしろい外壁のデザインがあります



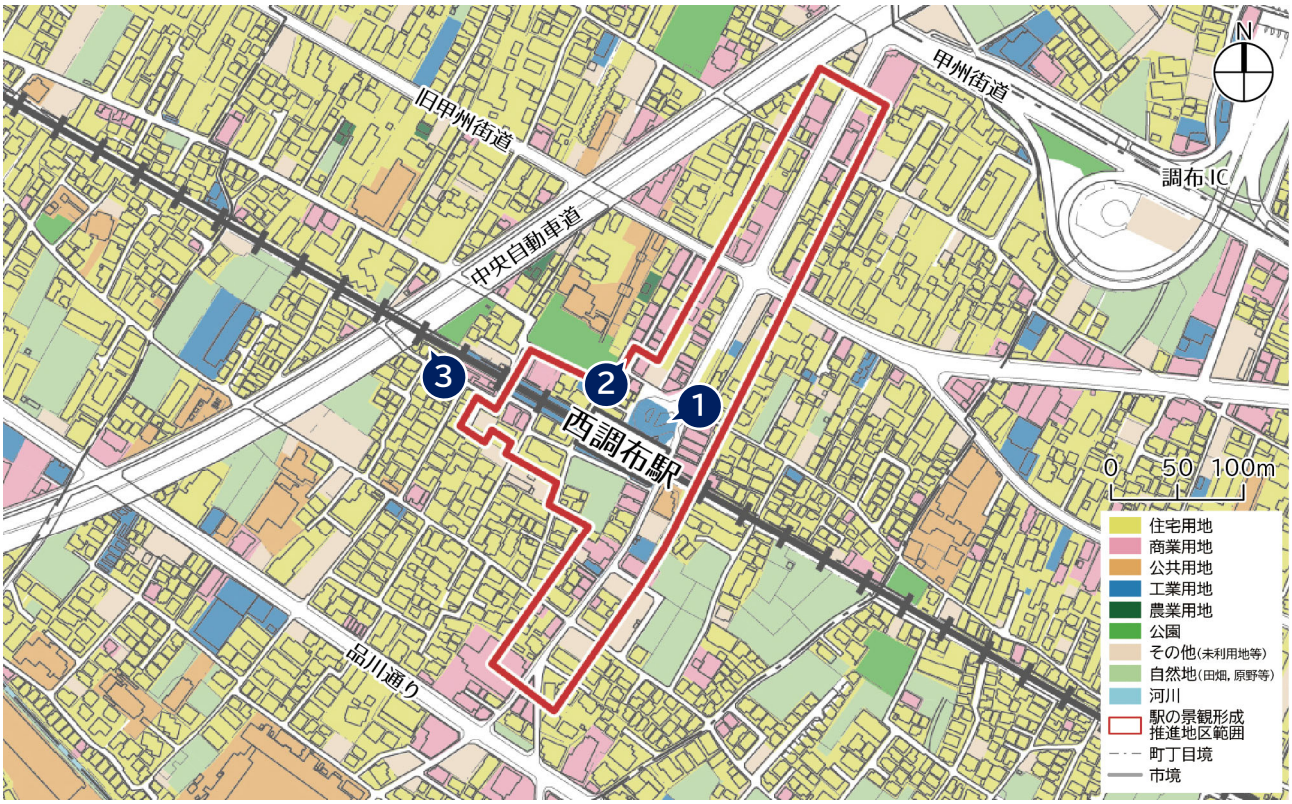
線路がなくなり、夕陽を見ることが
できるスポットが増えています

【調布駅周辺の景観形成方針】

- ●多様な世代の滞在・交流を促す憩いの空間とにぎわいの連続性により、回遊性や滞在性の向上に努めます。
- ●建物の配置や高さに配慮し、開放的な駅前広場からの視線の抜けや、眺望に配慮した駅前空間を形成します。
- ●低層部では商業施設の誘導と緑の創出により、にぎわいと潤いある空間の演出に努めます。
- ●公共空間との一体的な空間の確保に努め、ゆとりの感じられる連続的な歩行者空間を創出します。

西調布駅

【駅の範囲】



【景観特性】

○駅から旧甲州街道にかけて道路と駅前広場が整備されたことにより、交通の利便性が向上するとともに広場空間が広がり、新たな憩いの場となっています。

○西調布一番街の商店街の中にはリノベーションした店舗もあり、新たな形の商店街ができることが期待されています。

○駅南側の道路が未整備のため、店舗が沿道に軒を連ね、生活と密着した風景が見える昔ながらの街並みも魅力の一つとなっています。

○駅近くの西光寺は、新選組 近藤勇の「生誕の地」として座像が設置されており、地域の名所となっています。

キーワード
あらたな憩いの場
新と旧の共存
未整備の道路
路地裏
昔ながらの店舗
生活と密着
新選組・近藤勇

【駅まわりの魅力的な景観】

1



新しい駅前広場では、おしゃれなガーデンが駅前の顔づくりに一役買っています

2



路地裏に入ると昔ながらの商店街が残っており、ヒューマンスケールなほっとする風景が感じられます

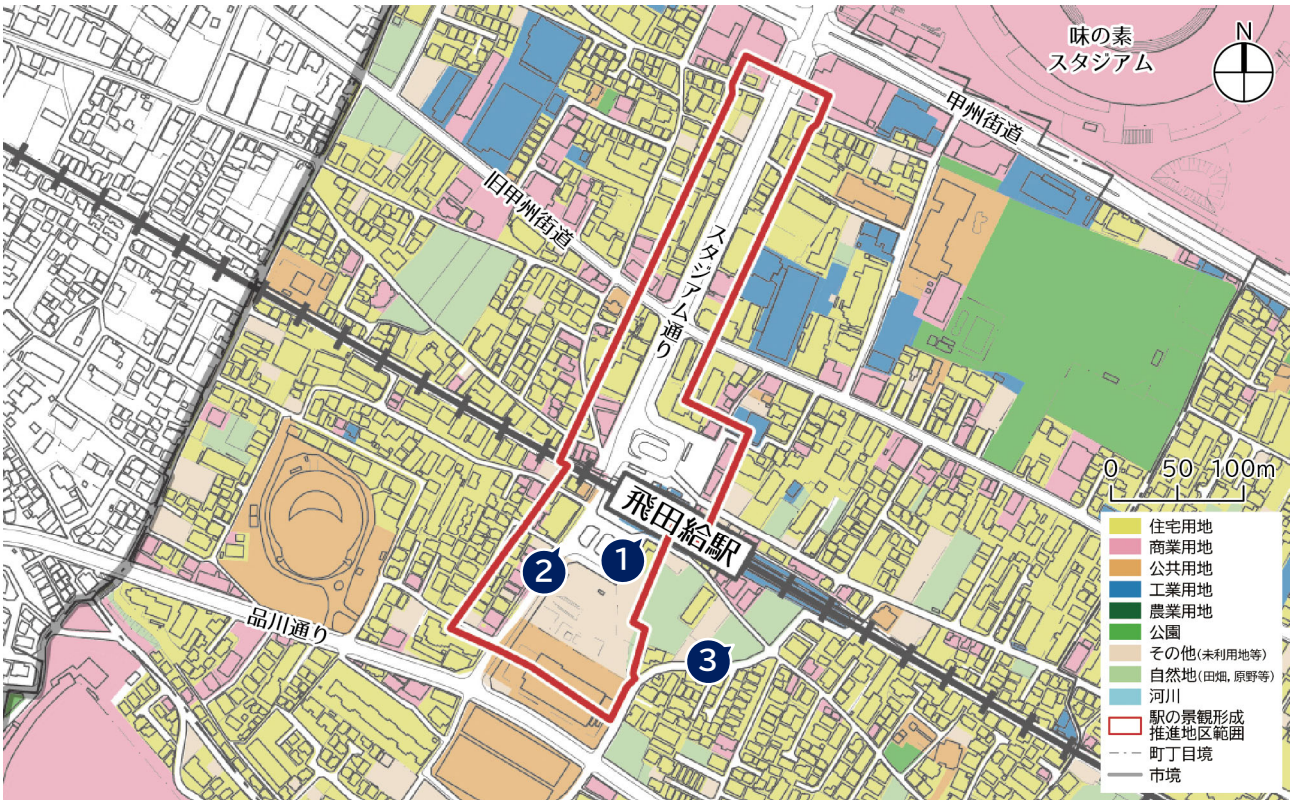
3



鉄道(京王線)と高速道路(中央道)が交差するのが見える、他の駅にはない特徴的なポイントです

飛田給駅

【駅の範囲】



【景観特性】

○スタジアムでのイベント開催時には駅構内のフラッグが変わり、会場に向かう人々を盛り上げます。

○スタジアム通りは桜並木が続き、駅前広場は季節ごとに花壇の花が植え替えられています。

○グッドデザイン賞を受賞した近未来的なデザインの駅舎、駅からスタジアムまでの歩道はバリアフリーを念頭に、誰もが移動しやすく作られています。

○駅の南側に隣接した畑では、広い空が見渡せるほっとする風景があります。

キーワード
イベント(スポーツ等)
駅周辺の発展
駅舎デザイン
大型集客施設
非日常の一コマ
安心感
四季と広い空

【駅まわりの魅力的な景観】



イベント開催時には、改札を出た瞬間から
ワクワクが広がる空間となっています



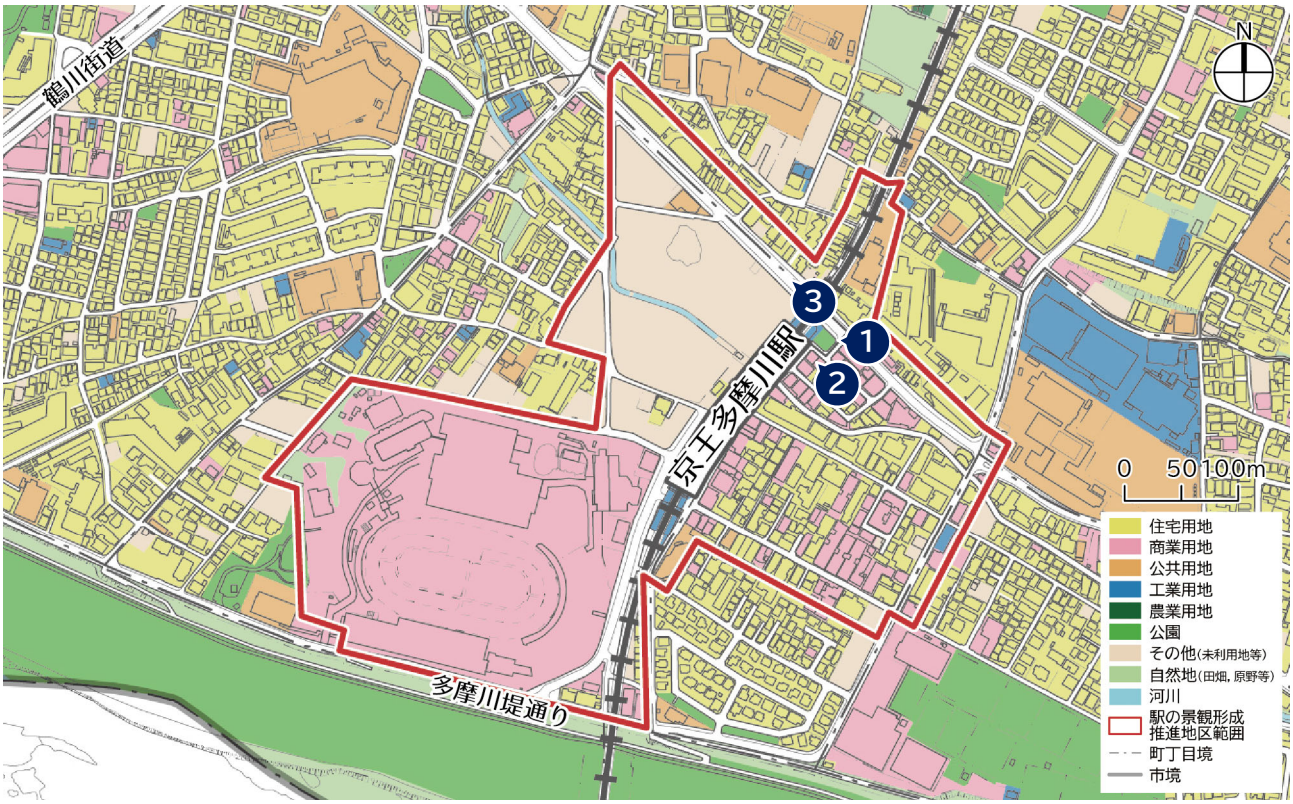
近未来を感じさせる駅舎と若い街路樹が
今後の成長を感じさせる風景となっています



北口の装いとは一変し、
南側は高い建物もなく空の広がりとともに
四季の移ろいも感じられる
農地のある風景となっています

京王多摩川駅

【駅の範囲】



【景観特性】

○市内唯一の高架駅で多摩川に隣接していることから、川・鉄橋・電車をセットで見ることができます。
○京王閣や多摩川河川敷でイベントが行われる時は多くの来訪者が訪れますが、普段はのどかで平穏な風景が魅力です。
○多摩川が近くにあり、週末には河川敷に多くの市民が訪れます。
○駅隣接地で開発計画が進められており、今後京王多摩川駅の魅力の一つになることが期待されます。

キーワード
多摩川
河川敷
高架の橋上駅
静と動
野球場・テニスコート
東京オーヴァル京王閣
鉄橋と電車

【駅まわりの魅力的な景観】



平日や京王閣競輪が開催されていない時は、のどかで平穏な駅前空間です



駅前の広場では、移動販売に人が集い、ふれあいを感じる風景となっています



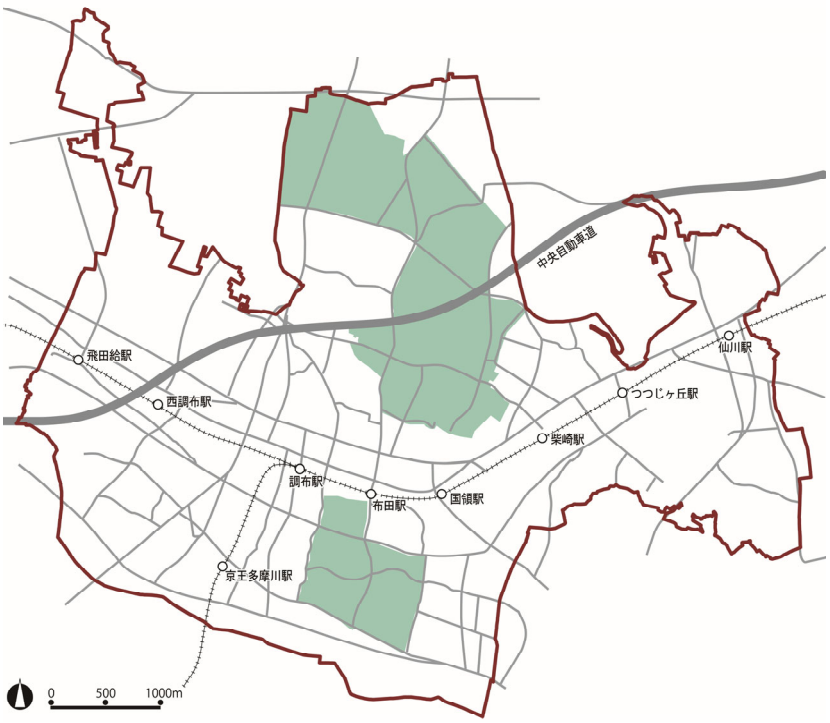
桜堤通りは、今後の街並みの変化を感じさせる風景となっています

(4)「農」の景観形成推進地区

①位置と概要

国分寺崖線から湧き出る湧水や複数の河川が流れる調布市では、恵まれた自然環境の中で農業が産業として地域に根付いてきました。

市内の南部や北部には、現在でもまとまりのある農地が残っています。市内に残る都市農地は、身近に食や、手入れをする人の温かさや安心感を感じられる空間です。農地や緑のまとまりだけでなく、人の営みやたたずまいが農の景観をつくり出しています。



「農」の景観形成推進地区の範囲

［対象範囲］
・染地・布田周辺地区：布田3丁目、布田6丁目、染地1丁目、2丁目の一部、国領町6丁目
・佐須町・深大寺南町周辺地区：佐須町1～5丁目、深大寺南町1～5丁目、柴崎1、2丁目の一部
・深大寺北町・深大寺東町地区：深大寺北町1～7丁目、深大寺東町1～6丁目の一部







②景観形成の方針

景観法第8条3項関係

■景観形成目標

●農地を含む緑地や武蔵野の原風景を維持し、地域の生産活動や生活文化としての「農」のある風景を保全・創出します。
●農地、緑地、住宅が混在する地域では、「農」の風景や緑の連続性に配慮した住環境を形成します。
●環境保全や防災、教育など多面的役割を担う農地としての景観づくりを進めます。

■景観形成方針

都市農地の保全と活用の推進

減少傾向にある生産緑地地区や市街地に残る農地などを計画的に保全するとともに、地域固有の農作物や樹種を生かした活用計画を検討します。

緑と農が連続する景観の形成

農地や崖線の緑地、屋敷林、公園などの緑を面的につなぎ、緑のネットワークを形成することで、武蔵野の緑の景観を創出し、次世代に継承します。

農家や市民と連携した学習機会の創出

営農や市民農園等としての活用により、地域の農業活動を支えるとともに、農家や市民と連携した農業・環境学習機会の創出など、市民にとって農と景観づくりが身近に感じられる取組を進めます。

農と住が調和する景観まちづくり

農地に近接する住宅地では、農の風景と調和した緑化や景観への配慮を促し、農や緑が感じられる住環境の形成を目指します。

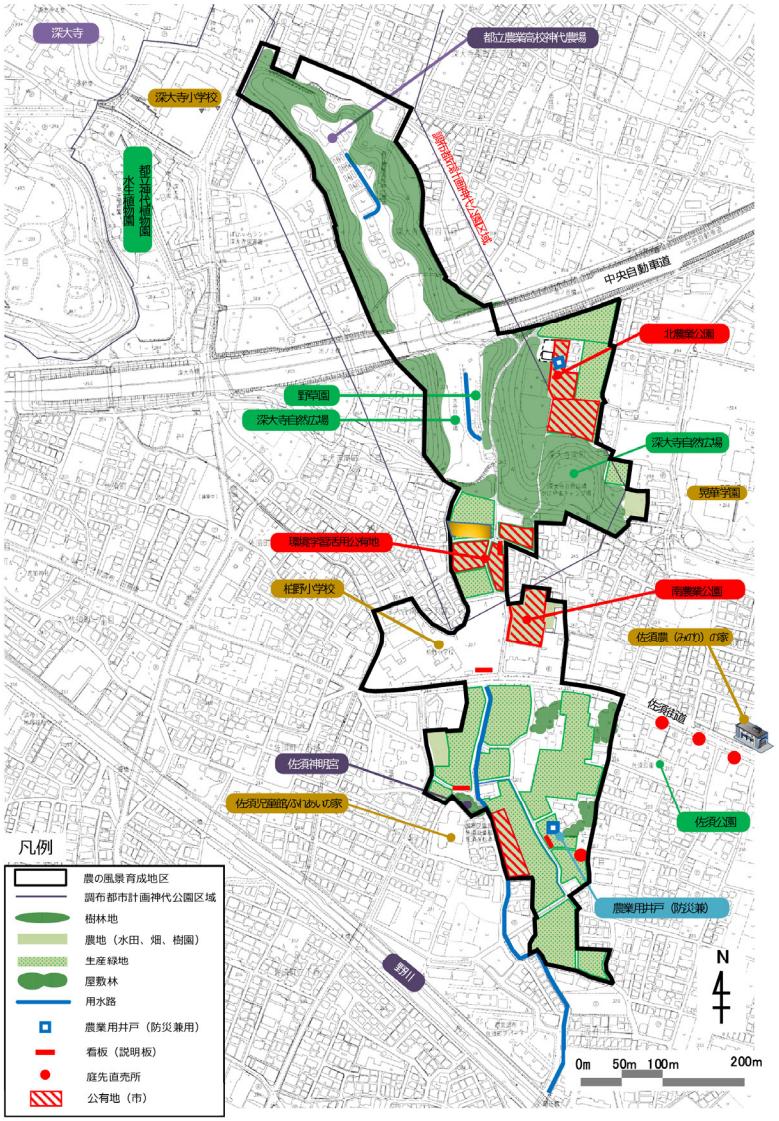


景観形成のイメージ

【農の風景育成地区】

市では、令和２(2020)年７月に深大寺・佐須地域の一部を東京都の制度に基づく「農の風景育成地区」に指定し、自然環境資源の保全・活用を行っています。

深大寺・佐須地域は、緑豊かな国分寺崖線、崖線に由来する湧水を水源とする水路、その水路に沿って広がる田畑が一体となって、市街地の中にありながら里山風景を残している地域です。





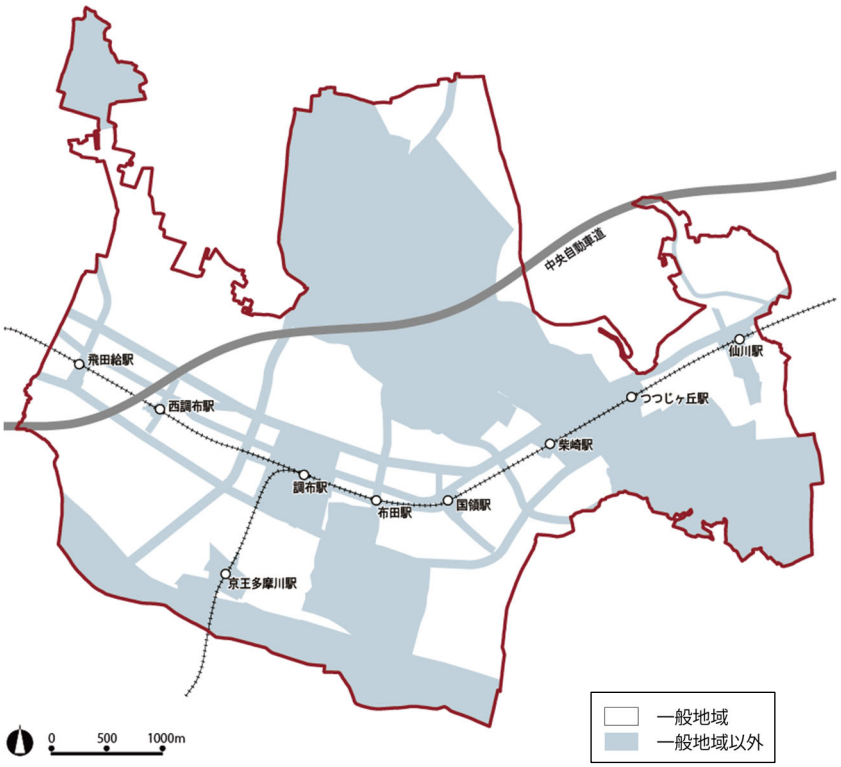


6-4．一般地域

①位置と概要

調布市は、多摩川などの河川、甲州街道などの主要な道路、国分寺崖線の緑の軸や、駅前やまとまりのある農地、閑静な住宅地が広がる地域など、多様で特徴的な景観で構成されています。

一般地域は、景観形成重点地区及び景観形成推進地区以外の地域を対象とし、主に閑静な住宅地や様々な土地利用が生活に密着している地域です。



一般地域の範囲

［対象範囲］
・景観形成重点地区及び景観形成推進地区以外の地域